

# ウクライナ関連

## 地理

首都：キーウ 国家元首：ゼレンスキー大統領

面積：約60 万km<sup>2</sup>(日本の約1.5 倍)

気候：北部は冷帯気候。南部はステップ気候(一部温暖湿潤気候がみられる)。

民族：ウクライナ人(77.8%)，ロシア人(17.3%)。ともに東スラブ系民族。

公用語：ウクライナ語。

宗教：ウクライナ正教会(83.7%)。

農業：農業従事者1 人あたりの農地面積…15.5ha(日本1.9ha)。

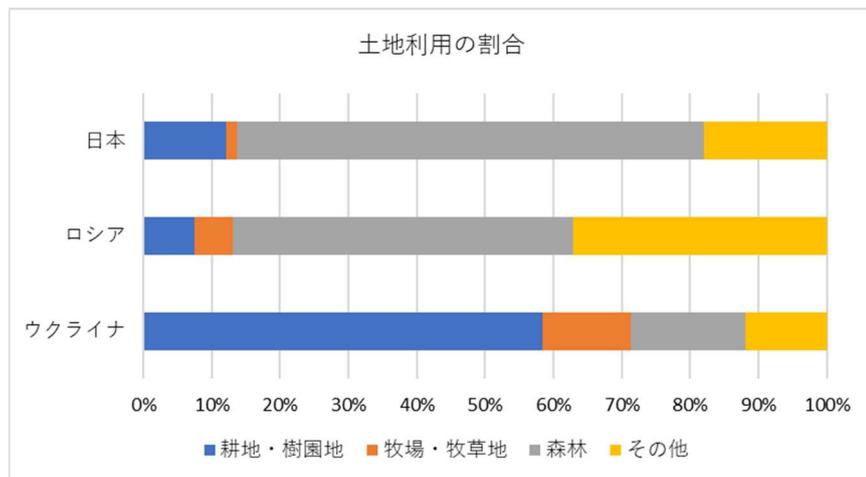
黒海沿岸の肥沃な黒土地帯で穀物を栽培。輸出品の約45%が食料品。

ひまわりの生産は世界有数。(オリーブ同様，種子を食用油に加工)

小麦の生産		小麦の輸出		大麦の生産		大麦の輸出	
中国	17.8	ロシア	13.8	ロシア	12.4	オーストラリア	19.8
インド	14.2	オーストラリア	12.9	オーストラリア	10.1	フランス	14.8
ロシア	9.9	アメリカ	12.1	フランス	7.8	ウクライナ	12.1
アメリカ	5.8	カナダ	10.9	ドイツ	7.1	ロシア	9.0
フランス	4.7	ウクライナ	9.8	ウクライナ	6.5	カナダ	8.0
ウクライナ	4.2	フランス	8.1	スペイン	6.4		
とうもろこしの生産		とうもろこしの輸出		ばれいしょの生産		ひまわりの生産	
アメリカ	31.7	アメリカ	35.7	中国	25.1	ウクライナ	28.2
中国	22.5	アルゼンチン	18.8	インド	14.4	ロシア	26.9
ブラジル	7.3	ウクライナ	12.5	ウクライナ	5.7	アルゼンチン	5.9
アルゼンチン	5.0	ブラジル	10.4	アメリカ	4.9	中国	4.9
ウクライナ	3.5	ルーマニア	3.5	ロシア	4.9	ルーマニア	4.9

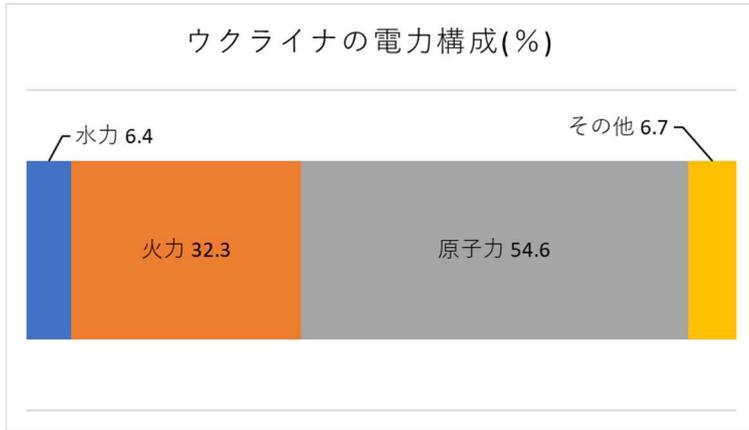
[データブック オブ・ザ・ワールド2024より 2021年 数字は%]

## 土地利用の割合



[データブック オブ・ザ・ワールド2024 より 2021 年]

電力：原子力が中心。(旧ソ連時代にチェルノブイリの発電所で大規模な事故)



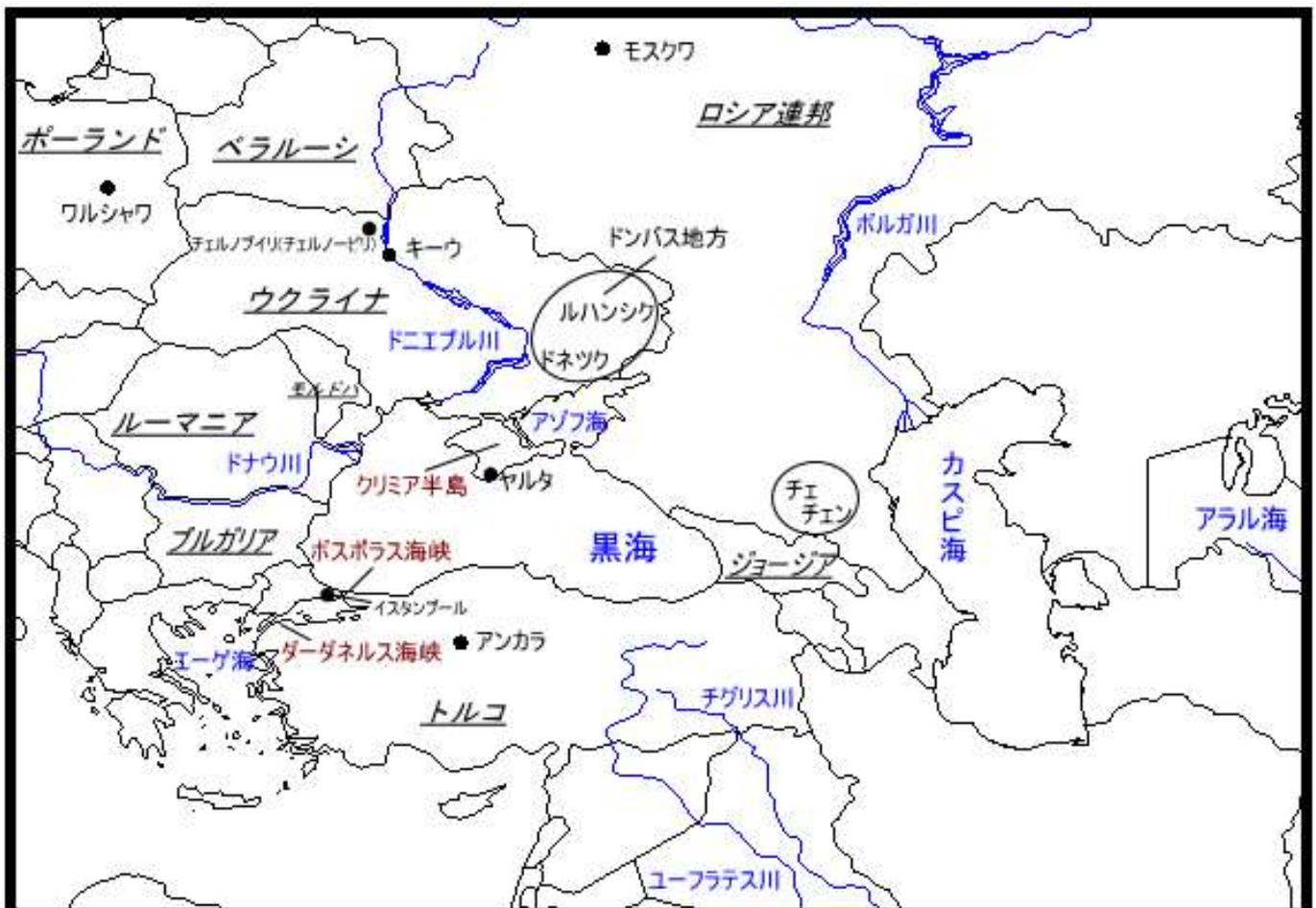
[データブック オブ・ザ・ワールド2024より 2021年]

工業：ドニエプル川流域で早くから鉱工業が発達。(ドニエプル川の豊富な水と付近で鉄鉱石・石炭を産出)

貿易：貿易相手国としてポーランドなど隣国との関係が深い。→貿易相手国からロシアがなくなる。

輸出		輸入		輸出相手国		輸入相手国	
とうもろこし	13.5	機械類	17.5	ポーランド	15.1	中国	15.7
ひまわり油	12.4	石油製品	15.7	ルーマニア	8.8	ポーランド	9.9
機械類	8.4	自動車	8.9	トルコ	6.6	ドイツ	8.3
鉄鉱石	6.6	医薬品	3.5	中国	5.6	トルコ	6.1
小麦	5.5	衣類	2.4	ハンガリー	5.1	アメリカ	3.9

[データブック オブ・ザ・ワールド 2024 より 2022年 数字は%]



## 歴史

年代	出来事
9 世紀	キエフを首都にキエフ大公国成立。 スウェーデンから南下したノルマン人(ルーシ)が東スラブ人を支配。ノルマン人は次第にスラブ化。「ルーシ」がロシアの古名として定着する。
10 世紀	ギリシャ正教を受容。(東ローマ帝国=ビザンチン帝国との関係強化)→現ウクライナ正教。
13 世紀	モンゴル人の侵入→キプチャク=ハン国(モンゴル)の支配下。 東スラブ人はロシア人, ウクライナ人, ベラルーシ人などに分化。
15 世紀	モスクワ大公国が成立(キプチャク=ハン国の支配から独立)…キエフは支配下に
18 世紀	ロシア帝国の成立(ロマノフ王朝ピョートル1 世)…ウクライナ全土は支配下に
1853~	クリミア戦争…クリミア半島を舞台にロシア帝国 対 オスマン=トルコ トルコにイギリスとフランスが援助→ロシア敗北 ロシア近代化の必要性→農奴解放令(1861)
1905	第一次ロシア革命 南部オデッサ(オデーサ)で黒海艦隊の戦艦ポチョムキン号が反乱。
1917	ロシア革命…革命の混乱期にウクライナ(人民)共和国として独立。
1922	ソビエト社会主義共和国連邦を構成する共和国となる→独立性を奪われる。
1945.2	ヤルタ会談(クリミア半島)
1956	フルシチョフによるスターリン批判 フルシチョフはウクライナのドンバス地方ドネツク出身のロシア系住民。
1986	チェルノブイリ原子力発電所事故
1991	ソ連の崩壊→「ウクライナ」として独立。 CIS(独立国家共同体)に加盟…E C をモデルとした旧ソ連諸国の連合体。
2000年代	東部ロシア系住民をめぐってロシアと軍事的対立→E U ・ NATO への加盟をめざす。
2014	ロシアによるクリミア併合…ロシア系住民の保護を名目に軍事進攻→住民投票。
2022.2	ロシア軍が東部ドンバス地方に軍事進攻。

※赤字の難語は「虎の巻」(世界史)で説明しています。

# イスラエル・パレスチナ関連

年代	関連事項(※1~5→表下に注 ①~⑤・X→表下に地図)
前 13 世紀	エジプトで奴隷となっていたユダヤ(※1)の民を率いて、モーセがエジプトを脱出。神(※2)から与えられた約束の地「カナン(※3)」(現在のエルサレム周辺イスラエル)を目指す。⇒ユダヤ教の原型が成立。『旧約聖書』出エジプト記(※4)の記述。
前 11 世紀	ユダヤの王政が始まる。
前 6 世紀	バビロニア王国にエルサレムを占領され、バビロン(現イラク)に 50 年にわたって強制移住。(「バビロン捕囚」)⇒ユダヤ教の確立。 アケメネス朝ペルシャによって解放。
前 4 世紀	アケメネス朝ペルシャを破ったアレクサンダー大王の帝国の支配下に入る。 ユダヤの離散が始まる。
前 1 世紀	共和政ローマの保護国となる。
1 世紀	イエスによりキリスト教誕生。イスラエル(パレスチナ)はローマ帝国属州となる。
4 世紀末	東ローマ帝国の支配下。
7 世紀	イスラム教の成立。アラブの支配下に入る。
1096	第一回十字軍。セルジューク=トルコから聖地エルサレム(地図X)奪回を試みる。
16 世紀	オスマン=トルコの支配下。
19 世紀	聖地管理問題を巡ってロシアとオスマン=トルコ(+仏英)が対立⇒クリミア戦争。 離散したユダヤ民族のイスラエル帰還・民族国家建設運動(シオニズム)が始まる。
1914	第一次世界大戦始まる。パレスチナ戦後処理を巡って密約が乱発される。(イギリスの二枚舌外交)⇒現在のパレスチナ問題の原因。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクス=ピコ条約…英仏露によるオスマン=トルコ分割。</li> <li>・バルフォア宣言…パレスチナにユダヤ国家建設を容認</li> <li>・フサイン=マクマホン協定…イギリスによるアラブ独立容認。</li> </ul> </div> 戦後、国際連盟がイギリスによるパレスチナ委任統治を認める。
1948	イスラエル建国→第一次中東戦争→パレスチナ難民の発生
1956	エジプト、スエズ運河国有宣言→第二次中東戦争
1964	パレスチナ解放機構(PLO)結成
1967	第三次中東戦争…ガザ地区(①)・ヨルダン川西岸地区(③)・ゴラン高原(④)・シナイ半島(④)を占領。
1973	第四次中東戦争→第一次石油危機
1993	オスロ合意→パレスチナ自治政府(⑤)成立…ヨルダン川西岸地区・ガザ地区
2007	ハマス(※5)がガザ地区を実効支配

※1…ヘブライ人とも表現する。(ヘブライ語・ヘブライ教)

※2…一神教であり、神はヤハウェと呼ばれる。

※3…ユダヤの民が定住前にはペリシテという民族が居住したことから、後にパレスチナとよばれるようになった。現在ではこの地域に住むイスラム教(主にアラブ人)をパレスチナ人としている。またアラブ人であってもユダヤ教徒であれば、ユダヤ人とされる。

※4…ユダヤ教の聖典。キリスト教では旧約・新約とも聖典とされる。

※5…反イスラエルのイスラム抵抗組織。パレスチナ自治政府内の一勢力であったが、現在は半独立状態。

